

平成22年度

— 第7回（定例・臨時） —

教育委員会会議録

開 会	平成22年 7月22日	午前 午後	2時32分			
閉 会	平成22年 7月22日	午前 午後	3時20分			
会議場所	教育委員室					
委員出欠	上野道善	出	濱上和康	出	平田静太郎	出
	藤岡庄司	出	松村佳子	出	富岡将人	出
議事録署名	教育委員長					
委 員	教育委員長職務代理者					
書 記	奈良県教育委員会事務局 企画管理室					

議案及び議事内容	結果
<p>次 第</p> <p>議決事項 1 人事について（秘密会）</p> <p>報告事項 1 平成 2 3 年度使用高等学校用教科書の採択について</p>	<p>可 決</p> <p>承 認</p>
<p>○委員長 「議決事項 1 は、人事に関する案件でございますので秘密会において審議すべきものと考えます。委員のみなさまにお諮りします。いかがでしょうか。」</p> <p>※ 各委員一致で可決</p>	<p>可 決</p>
<p>報告事項 1 平成 2 3 年度使用高等学校用教科書の採択について</p>	
<p>○委員長 「報告事項 1 について報告願います。」</p> <p>○教育長 「県立学校において平成 2 3 年度に使用する高等学校用教科書について、学校長の内申を受けて、それらを採択することとし、教科書採択一覧を作成いたしました。その内容について学校教育課長より報告いたします。」</p> <p>○学校教育課長 ・ ・ ・ 資料に基づき報告 ・ ・ ・</p> <p>○平田委員 「新規の教科書を採択する理由としては、担当教員が変わったことによるものか。」</p> <p>○学校教育課長 「担当教員が変わったというのではなく、内容を見て新規の教科書を採択することとなる。」</p> <p>○平田委員 「その新規の教科書は、他校では使用しているということもあるのか。」</p> <p>○学校教育課長 「他校ですでに使用している場合もある。」</p> <p>○濱上委員 「内容としてその学校にあっていのかどうかということか。」</p> <p>○学校教育課長 「数学の例では、ある出版社が学力別に何種類か教科書を作成していて、その内容を見ての採択となる。」</p>	

議案及び議事内容	結果
○濱上委員 「なぜ全県的に県立学校の同じ教科で同じ教科書を使用しないのか。」	
○学校教育課長「教育課程の違いや、生徒の学力に応じたものになっている。同じ出版会社でも同科目で数種類出ている。」	
○上野委員 「以前に比べて図や写真が増えているように思う。」	
○教育長 「普通科の高等学校であっても、文系・理系に分かれ異なる教科書を使用していることもある。」	
○上野委員 「昭和30年代には分かれていたように思う。」	
○理事 「まず高等学校教育としてのミニмумスタンダードがあり、必要に応じて選択部分を履修している。」	
○濱上委員 「私は、県内高等学校の普通科に通学していたが、進学コースと就職コースがあった。」	
○理事 「現在は、世の中の多様なニーズに対して、多様化して対応しないといけない状況になってきている。」	
○濱上委員 「進学に特化している傾向にないのか。」	
○理事 「進学に重点が行き過ぎているのであれば、戻すことも必要になってくる。」	
○平田委員 「非常に難しい問題である。進学に重点をまったく置かなければ、全国的な進学状況から取り残されてしまう危惧もあるように思う。」	
○理事 「卒業後の進路については、気になる部分もある。」	
○松村委員 「ミニмумスタンダードに関して言えば、大学生と話していると、高等学校時代に文系で勉強していた者の中には、中学レベルの理科の知識がない者もいる。」	
○理事 「高等学校の卒業は、履修単位として足りているかどうかで見ているところもある。」	

議案及び議事内容	結果
○教育長 「高等教育は高等学校として、社会に出てもやっていける必要な知識を身につける必要がある。」	
○委員長 「この件について、承認してよろしいか。」	
※ 各委員一致で承認	
その他報告事項 ① 公立学校施設の耐震改修状況等調査結果について (学校支援課長)	